

## ジャパンパックがドラム缶サイズの 段ボール製液体輸送容器を開発

段ボール容器メーカーのジャパンパック(株)(滑川市)は、「N-パック」シリーズの新商品として、大型ドラム缶サイズの段ボール製液体輸送容器「大型N-パック」を開発した。

「N-パック」シリーズは、金属缶に代わり使用后、廃棄処理が容易にできる段ボール製液体輸送容器で、年間約100万個を出荷する同社の主力商品。中にビニール袋を内包した構造で、金属缶やポリ缶に比べてコストの低減、強度や安全性の確保、作業効率の向上などを実現している。段ボールと内包袋は部分接着になっているため、箱を組み立てた状態で液体を充填することができ、使用後はコンパクトに折りたたんで焼却処分できるなど、環境にやさし

い構造になっている。これまでにシリーズ展開として、高い断熱効果を誇る保冷容器「N-クール」や、倒れても水がこぼれない切り花用輸送容器「N-フラワー」などを生み出しており、数々のパッケージ賞も受賞している。

今回の「大型N-パック」は、容量200ℓのドラム缶に代わる大型の段ボール容器。大手居酒屋チェーンのオーナーから「海外での出店に向け、国産の味噌や醤油を大量輸送する容器がほしい」と依頼を受けたことが開発のきっかけとなり、試行錯誤を経て、この春に商品化。長田弘泰社長は「強度や耐久性、使用後の回収性などの性能、品質を向上させ、本格的な量産体制に備えたいと思っています」と語っている。



●ジャパンパック株式会社  
TEL(076)476-1750  
FAX(076)476-1751  
<http://www.japan-pack.com/>